

市民B [REDACTED]と名古屋市の方がやってるやり取りを聞いて、このまま四時十分で終わるとバリアフリーをどうやって進めていくかっていう会で終わるはずなんですね。私の結論を言うとまっぴらごめんで、[REDACTED] [REDACTED]って話なんですよ。これから作る美術館とか公共とか今ある地下鉄にエレベーターをつけるとか、人街条例とか建築基準法の変遷もありますよね。そういうのは対応していけばいいんですけども、河村市長が作りたいたいと言ってるのは、エレベーターも電気も無い時代に作られたものを再構築するって話なんです。その時に何でバリアフリーの話が出るのかなっていうのが荒唐無稽で、ピラミッドの改修するときにエスカレーターをつけようやって言ってるのと一緒なんですよ。[REDACTED] [REDACTED]って話で、[REDACTED]って話なんですよ。

市民C このお城はですね、家康が作ったそのものを作る。そういう風に私は名古屋市から聞いてるんだけどね。それで私どもは寄付をさせていただいた。だから木造の、電気もない、そういうお城を作ると、すべてそれが、将来50年、100年後には世界遺産、国宝じゃなくても一つ上の世界遺産になることを願って我々は寄付したはずで。で、お城というのはまず攻めにくいようにできとる。階段だって急だよ。そんな急な階段があって当たり前。これから作るんだけどまた櫓門で昇降を作れと言われる、問題になる、同じことが起きる。これから櫓門を作ると先ほどおっしゃったけど、またそこにもエレベーターを付けよと。[REDACTED]

[REDACTED]、皆さん。
本当の木造を作ってください。それが名古屋城です。本当の木造、家康が作った木造を作ってください。野球の選手が書いたあれはちゃんと、先日、その大きな柱が、どこに使ってあるか、それはそれでいいじゃないですか。はい、以上です。